

藻(スピルリナ)栽培事業の量産化準備

会社名 株式会社SY
 所在地 岐阜県羽島市正木町曲利34-1
 従業員 46名
 資本金 1,000万円
 売上高 4億2,000万円
 業 種 樹脂水槽設計・施工、自動車プラスチック部品設計・製造組立、スピルリナ栽培・販売



株式会社SY

支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 既存の水槽施工事業と藻(スピルリナ)の栽培ノウハウを生かし、スピルリナの量産化と事業戦略を明確にする。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 量産化のための施設にめどが付き、量産できる体制が構築された。併せて羽島市周辺において菓子店などの売り先の開拓が進んできている。会社としてのブランディングを行いスピルリナ事業と水槽事業の戦略を定めることができた。

今後の事業展開の展望

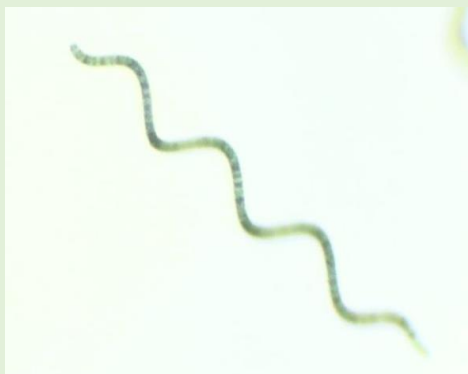
Future

- 量産する施設ができて、体制が整ったことにより、スピルリナの販売を拡充していくことができるようになった。水槽事業と合わせて、売上げを大幅に伸ばしていく体制が整った。

加速的支援を受けた事業や商材

人間に必要な栄養を60種類以上含み、近年、「スーパーフード」として注目されている、藍藻類に属する「スピルリナ」を製造・販売している。

スピルリナ



培養槽



スピルリナ顆粒



【出典】

株式会社SYホームページ <https://3pouyosi.jp/business-contents/spirulina/>
 スピルリナECサイト <https://infoasumo.stores.jp/>



加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略	一定量のスピルリナを栽培できる見込みであるが、多様な価値を提供しうる商材であるため、BtoB、BtoCともに販売ターゲットや訴求する価値の優先順位が定まっていない。
ブランド戦略	スピルリナ事業だけでなく、水槽事業や自社事業全体について、ブランドの在り方を点検・更新することで、より訴求力を高める。
知財戦略	スピルリナについて、特許情報は随時確認してきているが、開発のフェーズが進んできたことで、把握しておくべき先行技術の領域が存在している。

加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業戦略	<ul style="list-style-type: none">スピルリナ事業のコンセプトを整理し、優先して取り組む販売チャネルや訴求戦略を検討した。また、既存事業であり競合優位性もある水槽事業とのシナジーを考慮した事業戦略も検討し、会社としての方向性が明確になった。スピルリナの生産体制もほぼ完成し量産体制が整いつつある。	中小企業診断士 デザイン・ ブランド専門家
ブランド戦略	<ul style="list-style-type: none">スピルリナ事業では多様な顧客ターゲットが想定される中、改めてブランドコンセプトを見直すとともに、情報発信媒体の在り方や、ロゴ・ネーミング等について、具体的に対応すべき事項が明確になった。	デザイン・ ブランド専門家 弁理士 中小企業診断士
知財戦略	<ul style="list-style-type: none">特許情報分析を活用したことにより、他者の取り組み状況が把握された。今後量産化するに当たり、その過程で開発した技術を権利化する予定。	弁理士 中小企業診断士

支援チーム紹介

主担当専門家: 中小企業診断士 森竜也
活用専門家: デザイン・ブランド専門家、弁理士
知財総合支援窓口担当者: 岐阜県知財総合支援窓口 坂井保
PO(プログラムオフィサー): 石黒一夫